

〈令和6年度 総会〉

開催挨拶

環境システム計測制御学会 会長
京都大学大学院工学研究科 教授
都市環境工学専攻 高岡昌輝



皆様、こんにちは。

本日は環境システム計測制御学会の総会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。現在、当学会の会長を務めております京都大学の高岡昌輝でございます。総会の開催にあたり、会長として一言皆様にご挨拶を申し上げます。まず、この総会が開催されるにあたり、多くの方々のご尽力とご支援があったことに深く感謝申し上げます。

昨年の総会をこのきゅりあんで対面で開催してから、本格的に対面での活動を再開し、一年間活動してまいりました。12月に行われた研究発表会につきましても、北九州市立大学の安井先生、寺嶋先生及び北九州市様にご尽力いただき、北九州国際会議場に多くの方々にお集まりいただき、楽しい交流をさせていただきました。

さて、世間では引き続き、脱炭素社会の実現に向けて、様々な動きが始動しており、環境システム計測制御学会が主導する効果的な計測と制御の分野が社会から大変期待されていると思います。

本日の総会では、昨年度の事業報告及び決算、本年度の事業計画及び予算、役員案等をご審議いただきます。学会をより良くしていくためにも忌憚のないご意見を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

総会後は、2件の講演を予定しております。1つ目

は国土交通省から名倉良雄様に「水道行政の移管と最近の動向について」と題してご講演をいただきます。厚生労働省にありました水道事業がこの春から国土交通省に移管されました。また、本年1月1日に発災した能登半島地震においても、水道システムは甚大な被害を受けており、皆様の関心も非常に高いことと思います。貴重なお話が拝聴できるものと思います。

2つ目は(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)の粟生木千佳様に「循環経済への移行がもたらすインパクト——展望と課題」と題して、ご講演いただきます。循環経済が気候変動や生物多様性などの様々な環境課題を解決する一つの方法として注目されており、環境省の第5次循環型社会形成推進基本計画においても、「循環経済を国家戦略に」との別名が記されています。本日は、中央環境審議会循環型社会部会の委員でもあり、海外での動向にもお詳しい粟生木様から興味深い話を拝聴できるものと期待しております。

本日の総会及び講演会が、皆様にとって有益なものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。